



桐朋学園大学音楽学部

2017 年度

教員免許更新講習(選択領域)認定セミナー

# 指揮法基礎講座

2017年8月23日(水)～25日(金)

\*教員免許更新講習対象外の方も参加できます

TOHO GAKUEN SCHOOL OF MUSIC

## 本講習の目的

教師は授業や部活動等において、現代の児童・生徒の高い音楽的要求に日常的に応えて行かなければならない。そのためには教師自らの研修が必要である。しかし現状では多忙さに追われ、なかなか時間がとれない。特に「指揮」については、学生時代に指揮法の授業を受けたのみで、現場指導を行っている人も多いただろう。音楽教師にとって、日常の指導に「指揮」は切っても切り離せない技術である。本講習の目的は、指揮法の初歩を改めて確認し、また、教育にどのように生かしていくかを考察するところにある。

## 受講対象区分

【A】	教員免許状更新を目的とする小学校教諭 および 中学校・高等学校教諭 (教科：音楽)	定員 60名 (一日あたり)
	平成31年3月31日までに修了確認期限をむかえる方	
生年月日は以下のとおりです。 昭和37年4月2日～昭和39年4月1日 昭和47年4月2日～昭和49年4月1日 昭和57年4月2日～昭和59年4月1日  ※ 修了確認期限を延期している場合、免許状更新講習の受講期間は延期後の修了確認期限から起算する必要があります。		
【B】	【A】にあてはまらない音楽教育関係者等	

※申込者多数の場合は、抽選で受講予定者を決定します。

## 日程・会場

### 1. 講習日程

2017年8月23日(水)～25日(金) [時間数：各日6時間、計18時間]

### 2. 講習会場

桐朋学園大学調布キャンパス1号館 008室 [京王線 調布駅下車 徒歩15分]

〒182-0021 調布市調布ヶ丘1-10-1 TEL：042-444-7055 (代表)

## 受講料

1日あたり	8,000円
3日間	22,000円

※ 受講料納入後、7月31日16:30までに受講取消の申し出があった場合は、受講料を返還します。

## 申込方法

### 1. 申込受付期間

2017年5月22日（月）～6月30日（金） ※郵送必着

### 2. 提出書類

#### ① 受講申込書

#### ② 受講者事前アンケート ※【A】教員免許更新講習受講者のみ

- ・ ①、②を下記「教員免許更新講習(選択領域)認定セミナー係」宛に郵送してください。（郵送でのみ受け付け）
- ・ 上記の書類は本学のホームページからPDFファイルでダウンロードできます。

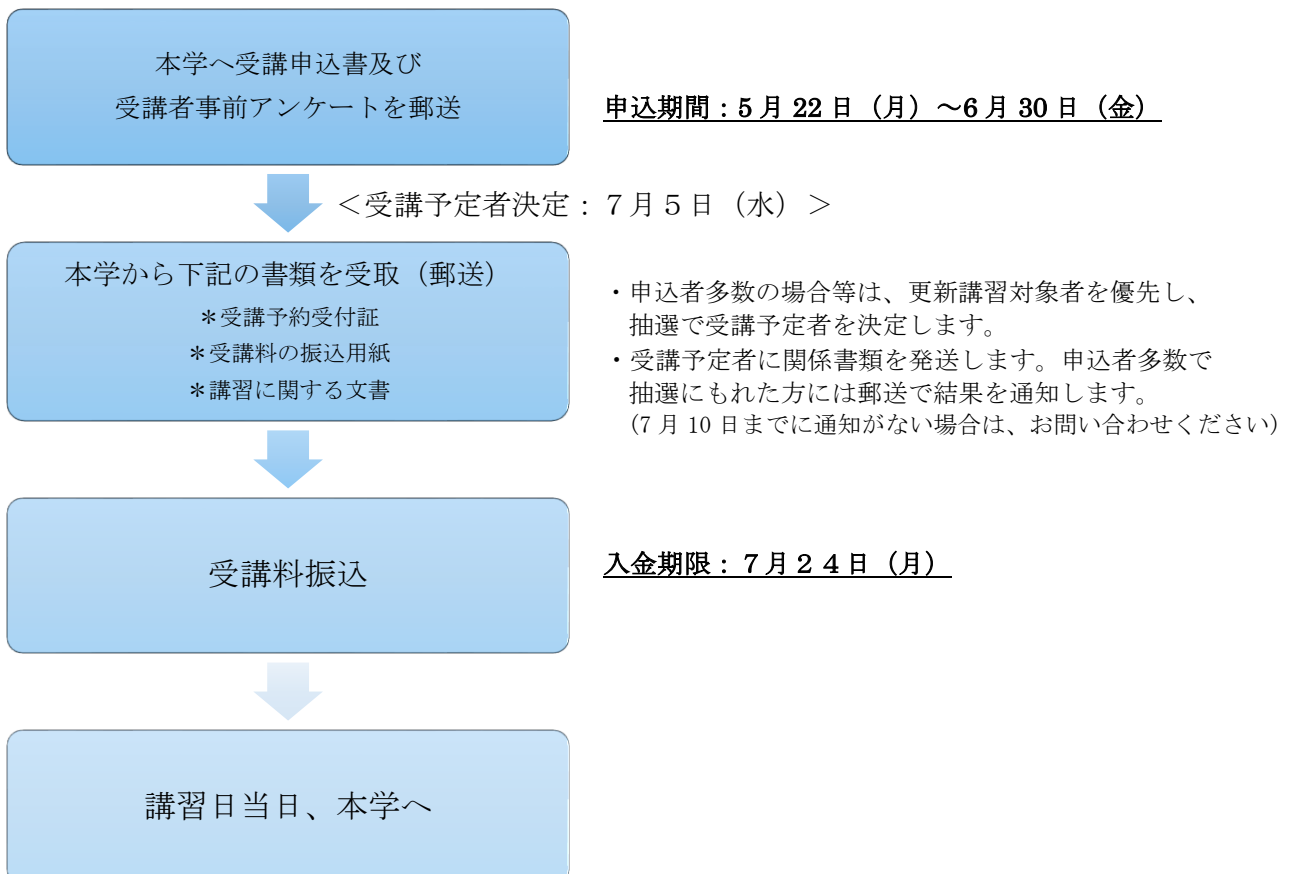
<http://www.tohomusic.ac.jp/college/openclass/menkyo2017.html>

#### 申込書類提出先

〒182-0021 調布市調布ヶ丘 1-10-1

桐朋学園大学 教務課 教員免許更新講習(選択領域)認定セミナー係

### 3. 申込みの流れ



## 受講申込書の記入方法 ※教員免許更新講習受講者対象

### ○所持する免許状の欄の書き方について〔受講者本人記入欄〕

免許状の種類	教科・特別支援教育領域等
幼稚園教諭（普通） 専修・一種・二種免許状	
小学校教諭（普通・特別） 専修・一種・二種免許状	（特別のみ） 国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育
中学校教諭（普通・特別） 専修・一種・二種免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、職業実習、外国語（英語、ドイツ語、フランス語その他の外国語）、宗教
高等学校教諭（普通・特別） 専修・一種免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、看護実習、家庭、家庭実習、情報、情報実習、農業、農業実習、工業、工業実習、商業、商業実習、水産、水産実習、福祉、福祉実習、商船、商船実習、職業指導、外国語（英語、ドイツ語、フランス語その他の外国語）、宗教 （一種のみ） 柔道、剣道、情報技術、建築、インテリア、デザイン、情報処理、計算実務
特別支援学校教諭（普通） 専修・一種・二種免許状	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者
特別支援学校自立教科教諭（普通・特別） 一種・二種免許状	理療、理学療法、音楽、理容、特殊技芸（美術、工芸、被服）
特別支援学校自立活動教諭（普通・特別） 一種免許状	視覚障害教育、聴覚障害教育、肢体不自由教育、言語障害教育
養護教諭（普通） 専修・一種・二種免許状	
栄養教諭（普通） 専修・一種・二種免許状	授与年月日 平成●●年●●月●●日

### ○受講対象者の証明方法について〔証明者記入様式〕

受講対象者の区分		証明の方法（※注）
教育職員・ 教育の職	教育職員（主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師） （免許法第9条の3Ⅲ①）	公立学校 校長の証明 ※校長本人の場合は教育委員会
		国立学校 校長の証明 ※校長本人の場合は法人の長
		私立学校 校長の証明 ※校長本人の場合は法人の長
	校長（園長）、副校長（副園長）、教頭、実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員 （免許状更新講習規則第9条Ⅰ①）	共同調理場に勤務する学校栄養職員 場長の証明 ※場長本人の場合は教育委員会
	指導主事、社会教育主事その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する専門的事項の指導等に関する事務に従事している者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ②）	任命権者の証明
	国・地方公共団体の職員等で、上記の者に準ずる者として免許管理者が定める者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ③）	任命権者又は雇用者の証明
その他文部科学大臣が定める者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ④）	その者の任命権者・雇用者の証明	
教員採用内 定者・ 教員採用内 定者に準ず る者	教員採用内定者（免許法第9条の3Ⅲ②）	任用又は雇用予定の者の証明
	教員勤務経験者（免許状更新講習規則第9条Ⅱ①）	任用又は雇用していた者の証明
	認定こども園及び認可保育所の保育士 （免許状更新講習規則第9条Ⅱ②）	当該施設の長の証明
	幼稚園と同一の設置者が設置する認可外保育施設に勤務する保育士 （免許状更新講習規則第9条Ⅱ②）	当該施設の設置者の証明
教育職員となることが見込まれる者（臨時任用リスト搭載者等）（免許状更新講習規則第9条Ⅱ③）	任用又は雇用する可能性がある者の証明	

（※注）証明者については例示であり、受講申し込みを行う者の任命権者が定めた者による証明であれば差し支えない。（例えば、現職の公立学校教諭の証明者が校長ではなく教育委員会の教育事務所長であった場合など。）

## 修了認定について ※教員免許更新講習受講者対象

受講対象区分【A】「教員免許更新講習としての受講者」は、講習最後の試験を必ず受験してください。  
また、定められた時間（1日あたり6時間）を受講しなければ、履修認定がされませんのでご注意ください。  
試験合格者には9月25日付で『履修証明書』を発行し、送付いたします。  
履修証明書受け取り後は、定められた期間に免許管理者（勤務する学校が所在する都道府県の教育委員会）へ各自申請してください。

## 受講にあたっての注意事項

- ・ 当日は講習開始時間までに受付を済ませてください。遅刻・欠席がある場合は認定されませんので、ご注意ください。
- ・ 自然災害、交通機関の事故等のほか、本学の都合により講習を中止する場合があります。事前に中止が判明した場合は、本学のホームページでお知らせします。
- ・ 貴重品の取り扱いには十分注意してください。
- ・ 校内は駐車禁止です。電車・バスをご利用ください。
- ・ 宿泊の手配は各自でお願いします。
- ・ 会場として指定された教室以外には立ち入らないでください。

## 講習内容および時間割

### 8月23日(水) 「指揮法基礎講座」

学生時代に学んだ指揮法を確認するとともに、その応用として、現役の指揮者より具体的な課題の振り方を学ぶ。希望者対象の公開レッスン等も取り入れ、また質疑応答も含めて研修を深化させていく。

時間	講義(講師)	講師	内容
8:45-9:00	出席確認 オリエンテーション	谷 茂樹 関田 英二	本講座の流れと受講上の留意点について確認する。
9:00-10:00	指揮法基礎講座①	梅田 俊明	指揮法の初歩を復習する。各拍子の図形例、弱起等の振り方等を解説する。
10:00-10:10	休憩		
10:10-11:30	指揮法基礎講座②及び課題解説	梅田 俊明	課題※1 をもとに、指揮法全般について解説する。
11:30-12:20	休憩		
12:20-13:40	課題の実践	梅田 俊明 村上 寿昭	レッスン希望者※2 を対象に公開レッスンを行う。
13:40-13:50	休憩		
13:50-15:10	指揮法応用講座① オペラの指揮について	村上 寿昭	オペラの指揮について、歌手及びオーケストラ等とのアンサンブルの解説をする。
15:10-15:20	休憩		
15:20-16:30	指揮法応用講座② 協奏曲総譜の成立と指揮	下田 幸二	ショパンのピアノ協奏曲第2番自筆総譜の成立事情を中心に、19世紀に確立する指揮・独奏・管弦楽の関係性を解説する。
16:30-16:35	休憩		
16:35-17:05	考査	谷 茂樹 関田 英二	※教員免許更新講習対象者のみ

※1 課題に関しては、後日お知らせします。

※2 レッスン希望者は受講者皆様の前で指揮をしていただき、それをもとに講師からアドバイスさせていただきます。ご希望の方は受講申込書のレッスン希望欄に、その旨ご記入ください。尚、公開レッスン受講者に対して別途料金が発生することはありません。また、受講希望者が多い場合は、抽選とさせていただきます。

## 8月24日(木)「合唱指揮・指導講座」

指揮法基礎講座の応用編である。この講座では合唱指揮を専門としている講師、あるいは教育現場で合唱指導を行っている講師をゲストに迎え、それぞれの視点から、合唱指揮・指導法を解説する。また、合唱伴奏の見地からも合唱を考察するなど、幅広く学んでいく。

時間	講義(講師)	講師	内容
8:45-9:00	出席確認 オリエンテーション	谷 茂樹 関田 英二	本講座の流れと受講上の留意点について確認する。
9:00-10:50	合唱指導実践	村松 玲子	教育現場の合唱指導について、部活動の運営、音楽指導、発声指導、コンクールへの参加など、自らの体験をもとに紹介する。
10:50-11:00	休憩		
11:00-12:00	楽譜と表現	土田 英介	講師自身の合唱作品をテキストに、楽譜の解釈について解説する。また、それをどのように生徒等に指示するかを考察する。
12:00-12:50	休憩		
12:50-14:20	合唱指揮及び指導法	大谷 研二 斎木 ユリ	指揮者である講師の合唱指揮法、指導法について研修する。
14:20-14:30	休憩		
14:30-16:30	課題解説及び練習	大谷 研二 斎木 ユリ	<u>課題※1</u> をもとに、合唱指揮指導法、伴奏法等について解説を行う。 <u>レッスン希望者※2</u> を対象に公開レッスンをを行う。
16:30-16:35	休憩		
16:35-17:05	考査	谷 茂樹 関田 英二	<u>※教員免許更新講習対象者のみ</u>

※1 課題に関しては、後日お知らせします。

※2 レッスン希望者は受講者皆様の前で指揮をしていただき、それを元に講師からアドバイスさせていただきます。ご希望の方は受講申込書のレッスン希望欄に、その旨ご記入ください。尚、公開レッスン受講者に対して別途料金が発生することはありません。また、受講希望者が多い場合は、抽選とさせていただきます。

## 8月25日（金）吹奏楽指揮・指導講座

指揮法基礎講座の応用編である。この講座は吹奏楽の指揮を専門としている講師、また教育現場で吹奏楽指導を行っている講師をゲストに迎え、それぞれの視点から吹奏楽指揮・指導を解説していく。また管楽器の特性についての講義も含め、吹奏楽を多方向から研修する。

時間	講義（講師）	講師	内容
8:45-9:00	出席確認 オリエンテーション	谷 茂樹 関田 英二	本講座の流れと受講上の留意点について確認する。
9:00-10:20	管楽器の特性について	常光 誠治 亀井 良信 上原 宏	木管楽器、金管楽器のそれぞれの特徴や吹奏楽での役割を解説する。
10:20-10:30	休憩		
10:30-12:20	吹奏楽指導実践	常光 誠治 上原 宏	演奏家であり、教育現場の指導者としても活躍している講師自らの体験をもとに、吹奏楽の指導法を解説していく。
12:20-13:10	休憩		
13:10-14:40	吹奏楽指揮・指導法	上原 宏	<u>課題※1</u> をもとに、吹奏楽指揮・指導法について解説を行う。
14:40-14:50	休憩		
14:50-16:10	課題の実践	上原 宏	<u>レッスン希望者※2</u> を対象に公開レッスンを行う。
16:10-16:15	休憩		
16:15-16:45	考査	谷 茂樹 関田 英二	<u>※教員免許更新講習対象者のみ</u>

※1 課題に関しては、後日お知らせします。

※2 レッスン希望者は受講者皆様の前で指揮をしていただき、それをもとに講師からアドバイスさせていただきます。ご希望の方は受講申込書のレッスン希望欄に、その旨ご記入ください。尚、公開レッスン受講者に対して別途料金が発生することはありません。また、受講希望者が多い場合は、抽選とさせていただく場合がございます。



## 梅田 俊明

東京に生まれる。5歳よりピアノを始め、井上直幸、新井精氏等に学ぶ。1984年桐朋学園大学音楽学部を卒業。86年同研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、コントラバスを小野崎充、ピアノと室内楽を三善晃の各氏に師事する。83、84年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。86年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し、研鑽を積んだ。帰国後、89年12月より92年4月まで日本センチュリー交響楽団指揮者を務めた。90年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任。92年4月より96年3月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団の指揮者の任も果たした。2000年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、2006年3月までその任を務めた。客演としては、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニーを始め、国内主要オーケストラと長年に亘り共演を重ねている。

<https://www.japanarts.co.jp/artist/ToshiakiUMEDA>

## 村上 寿昭

桐朋学園大学卒業。指揮を小澤征爾、黒岩英臣、秋山和慶の各氏に師事。在学中から新日本フィルハーモニー交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、その後も水戸室内管弦楽団、ウィーン国立歌劇場で小澤征爾氏のアシスタントを務める。

2004年から2006年までオーストリア・リンツ州立歌劇場に在籍、2006年からドイツ・ハノーファー州立歌劇場に転じ、2008年から2012年までカペルマイスターとして数多くのオペラ、バレエを指揮。また、ベルリン交響楽団、リトアニア国立管弦楽団をはじめ数多くのオーケストラから招かれる。1999年、2002年にサイトウ・キネン・フェスティバルに招かれ「武満徹メモリアルコンサート」を、2002年には小澤征爾音楽塾にて「ドン・ジョヴァンニ」を、また、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮する。2016年には小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIVにて「こうもり」、2017年には同プロジェクト「カルメン」を指揮（小澤征爾氏と振り分け）。

近年は、教育活動にも力を入れ、音楽大学オーケストラなどの指導も活発に行っている。また室内楽、歌曲の伴奏など、ピアニストとしても活動している。現在、東京芸術大学講師、桐朋学園大学音楽学部講師、新国立劇場オペラ研修所講師。

## 下田 幸二

1985年武蔵野音楽大学卒業。1989年ポーランド政府給費生として、ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科を最優秀で修了。1990年より8年間にわたり、ポーランド国立J.エルスナー高等音楽学校ピアノ科講師を務める（1990年から1年間は、国立E.ムイナルスキ初等音楽学校講師を兼務）。相馬信子、石黒祥義、リディア・コズバック、バルバラ・ヘッセ＝ブコフスカの各氏に師事。その他、タチアナ・シェパノワ、イェジー・スリコフスキの各氏にも薫陶を受ける。

研究者として、特に「ショパン」を中心とするポーランド音楽の専門家として信頼が篤い。

現在、桐朋学園音楽部門、フェリス女学院大学音楽学部および同大学院、相愛大学音楽学部各講師。

(社)日本演奏連盟会員。(社)全日本ピアノ指導者協会正会員。大阪三木楽器特別ピアノ演奏家コース講師。

## 大谷 研二

1983～87年スウェーデン、ドイツ、イギリスにて合唱指揮法を学ぶ。

フランクフルト音楽大学合唱指揮科卒業。

武満徹監修「Music Today」でオーストラリアの現代作品を指揮してデビュー。

N響を始め、多くのオーケストラで度々合唱指揮を担当。

2001年には韓国国立合唱団、2005年には台北フィルハーモニー合唱団定期演奏会を指揮。

松村賞受賞。東京混声合唱団指揮者、活水女子大学音楽学部学術研究所教授。

NHK東京児童合唱団 常任指揮者・音楽顧問。

## 亀井 良信

父の手ほどきでクラリネットを始める。桐朋女子高等学校音楽科卒業後、渡仏。パリ市12区立ポール・デュカ音楽院とオーベルヴェリエ・ラ・クールヌーヴ地方音楽院どちらも1位で卒業。トゥーロン国際コンクールスペディダム賞、日本木管コンクール1位およびコスモス賞受賞。ピエール・ブーレーズに認められ、フランスの騎馬オペラ団ジンガロの「TRIPTIK」の世界ツアーにソリストとしてツアー。2003年帰国。各地のホールに招かれリサイタルや室内楽演奏会を行っている。NHK-FM「FMシンフォニーコンサート」「ベストオブクラシック」「きらクラ」NHK-BS「クラシック倶楽部」「題名のない音楽会」に出演。2012年リリースのフランス人作曲家集CD「Rhapsodie」は「レコード芸術」特選盤に選ばれる。財団法人地域創造の2012年-13年度、公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。現在、桐朋学園大学准教授。

## 上原 宏

桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了

1990年 シエナ・ウインド・オーケストラホルン奏者として入団。1991年 東京佼成ウインドオーケストラに移籍。在京のほとんどのオーケストラにエキストラ出演。

ソリストとして、アミュゼット室内楽、アーレスピラン室内楽、東京佼成ウインドオーケストラ等にて独奏曲を演奏。室内楽においては、金管5重奏団"翔"、木管6重奏団"ラデュー"、木管5重奏団"ウインドバック"等でリサイタルを行っている。

その他、楽器講習会を全国各地で開催。全日本吹奏楽コンクール全国大会、支部大会、地方大会の各部門の審査員を多数務める。

現在、東京佼成ウインドオーケストラホルン奏者で企画委員。武蔵野市民交響楽団"アンサンブル・ダ・カーポ" 常任指揮者、東芝府中吹奏楽団音楽監督、玉川大学吹奏楽団顧問、昭和音楽大学・昭和音楽短期大学講師。桐朋学園大学講師。

## 常光 誠治

1937年 広島県生まれ

1959年 桐朋学園短期大学音楽科（現・桐朋学園大学音楽学部）卒業

1959年 大阪フィルハーモニー交響楽団首席入団

1960年 日本フィルハーモニー交響楽団入団

1972年 新日本フィルハーモニー交響楽団入団

小澤征爾指揮 サイトウ・キネン・オーケストラ 元メンバー

現在

- ・横浜創英中学、高等学校吹奏楽部音楽監督、指揮者（平成4年より現在に至るまで顧問を務める）
- ・慶應義塾大学 湘南台藤沢校舎アイネクライネオーケストラ トレーナー
- ・浜松医科大学オーケストラ トレーナー
- ・上智大学ソフィアフィルハーモニー トレーナー

## 村松 玲子

岩手県立不来方高等学校教頭。岩手県合唱連盟副理事長。

盛岡市生まれ。東京学芸大学特別教科教員養成課程卒業。

不来方高校音楽部創部3年目より顧問として指導、27年を迎える。

全日本合唱コンクール全国大会出場23回（金賞9年連続17回・文部科学大臣賞6回）

海外公演10回（フランス・イタリア・オーストリア・シンガポール）

岩手県内外での訪問コンサートや東日本大震災被災地での復興支援コンサートを開催。

## 齋木 ユリ

桐朋女子高校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。

飯守美絵子、徳丸聡子の両氏に師事。

室内楽、合唱などの共演者として多くの演奏会に出演、放送、録音に参加し、邦人作曲家の初演なども行っている。

1995年、第6回日本国際音楽コンクール（ヴァイオリン部門）で最優秀伴奏者賞を受賞。

2006年、第1回カサド国際チェロ・コンクールで公式伴奏を務め原智恵子賞（最優秀伴奏者賞）を受賞。

最近ではオペラシアターこんにゃく座とも共演するなど、幅広く活動している。

現在、桐朋学園大学附属「子どものための音楽教室」講師、NHK 東京児童合唱団客員ピアニスト・講師。

## 土田 英介

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。第53回日本音楽コンクール作曲部門第1位（管弦楽曲）。第14回民音現代作曲音楽祭にて委嘱曲「交響的譚詩」が初演される。オーケストラ、室内楽、合唱、ピアノ、ヴァイオリン曲など多くの作品がある。

2013年、東京文化会館小ホールにて『土田英介個展』～室内楽曲、デュオ、ピアノ曲、歌曲を集めて～を開催。2014年、ピアノ協奏曲が、札幌コンサートホール Kitara 大ホールにて、泊真美子（Pf）、渡邊一正指揮、札幌交響楽団の演奏により初演される。

ピアニストとしての活動は多岐に亘り、東フィル、東響のソリストや国内外一流アーティストとの共演、CD録音、新作発表初演、新国立劇場等での劇伴奏など、多彩な活動を繰り広げている。

著書「バッハ平均律クラヴィーア曲集第1巻～演奏のための分析ノート1・2」（音楽之友社）を執筆。

2016年3月末日まで、東京音楽大学ピアノ科教授、東京藝術大学作曲科講師を務め、現在、桐朋学園大学作曲科教授、洗足学園音楽大学作曲コース客員教授、東京音楽大学講師。

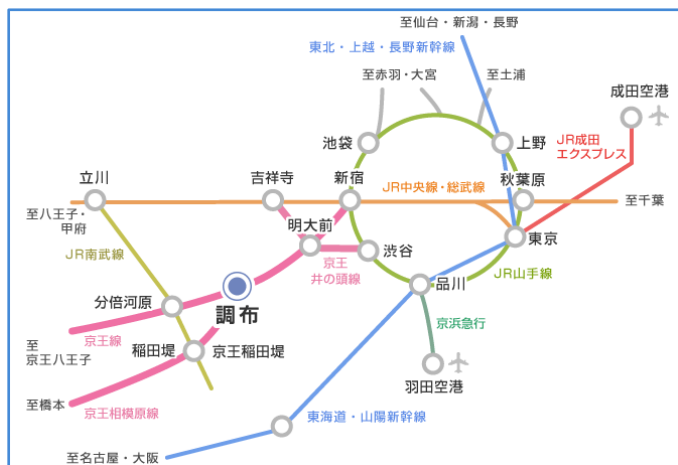
## 関田 英二

桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究生修了。1979年に桐朋女子高等学校教諭。歌唱、指揮、編曲、司会等マルチな分野で数多くのコンサートに出演し、サロンコンサートの普及に努めている。「子供のための音楽教室」から「生涯教育講座」まで幅広く音楽教育活動を行うとともに、東京都私立学校協会を中心に学校音楽教育の向上にむけた活動も行っている。現在、桐朋学園大学教授、二期会会員。

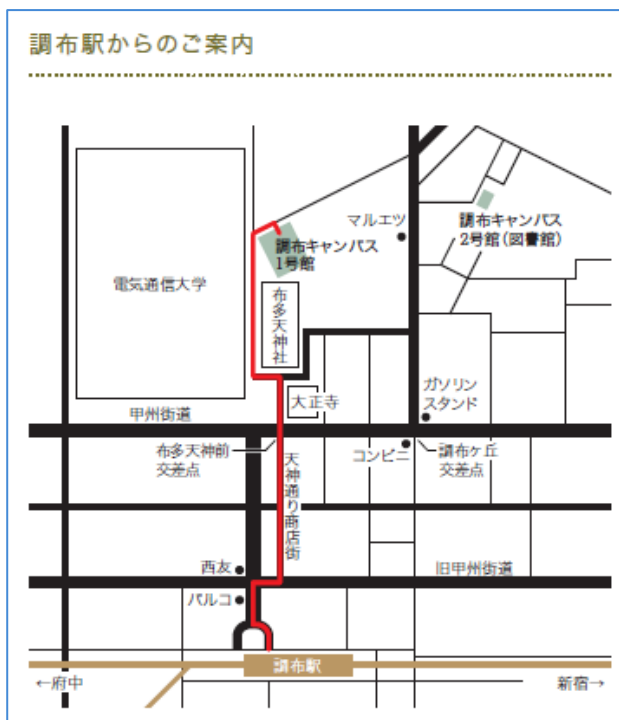
## 谷 茂樹

桐朋学園大学研究科卒業。二期会研究生25期終了。文化庁オペラ研修所第4期生終了。文化庁海外派遣生としてイタリア・ミラノに留学。伊藤武雄、中山悌一、平野忠彦の各氏に師事。二期会オペラ、新国立劇場、等数々のオペラに出演。現在、桐朋学園大学教授、二期会会員。

## 本学 調布キャンパスまでのアクセス



京王線「調布」駅より 徒歩 15分



## お問い合わせ先

ご不明な点は、教務課 教員免許更新講習（選択領域）認定セミナー係までお問い合わせください。

TEL: 042-444-7055 (8:30~16:30 土・日・祝日を除く)